

施工手順書

遮音・防滑性階段用床材

タキステップ3W

<モルタル下地・平鋼鋳製階段用>

踊り場用シート・蹴込み部分用シート

<タキステップ3W用>

タキロンマテックス株式会社

タキテップ3W 施工手順

1. 下地の確認・清掃

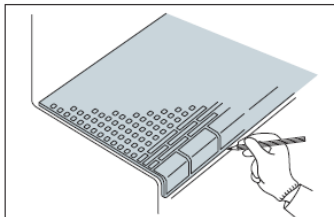
- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行ってください。
- 砂・塵埃などを除去してください。

2. 裁断とけがき

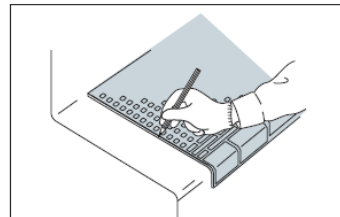
- スケール、直定規で階段の中・奥行・前垂れ部の寸法を測定し、タキシール#600の仕上げ代として排水溝側は5mm以上、壁際は3mm程度の間隙が空くように裁断してください。

※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面や蹴込み面にかからないように、端部に隙間を空けてください。

- 仕上げ寸法に裁断後、タキステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆などで仕上がり寸法をけがいてください。



●階段全面に張る場合

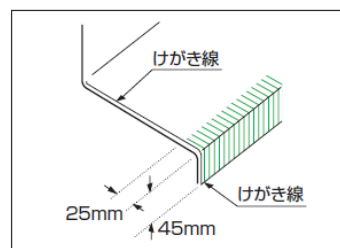


●階段の端部を空けて張る場合

3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

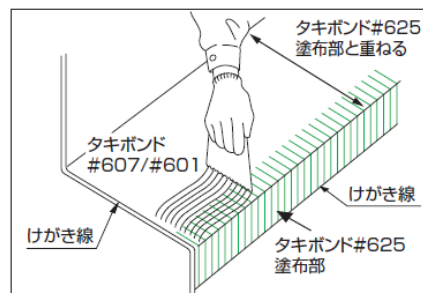
※平鋼板製階段及び蹴込み部分用シートを施工しないモルタル下地の場合は、プライマー タキボンド#625(別売)を購入してください。

- 図のように下地斜線部にタキボンド#625をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させます。タキボンド#625塗布面は汚さないように注意してください。また、1日以上乾燥させないでください。



4. 接着剤(タキボンド#607/#601)の塗布

- 図のように踏み面部に床用接着剤(タキボンド#607/#601)をタキボンド#625塗布部と重なるようにクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを取ってください。
- オープンタイムが短いと、初期の接着力が発揮されないため、タキステップが手前に押し出されたり、階段入り隅部に浮きが生じたりします。
- 張り付けは、最下段から上段に向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業者が最下段にいるようにしてください。
- タキボンド#601は5℃以下では硬化しませんので使用しないでください。(硬化反応が進みません。)

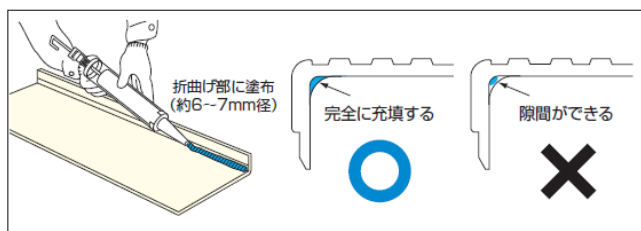


5. 両面テープの剥離紙の剥がし

- タキステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

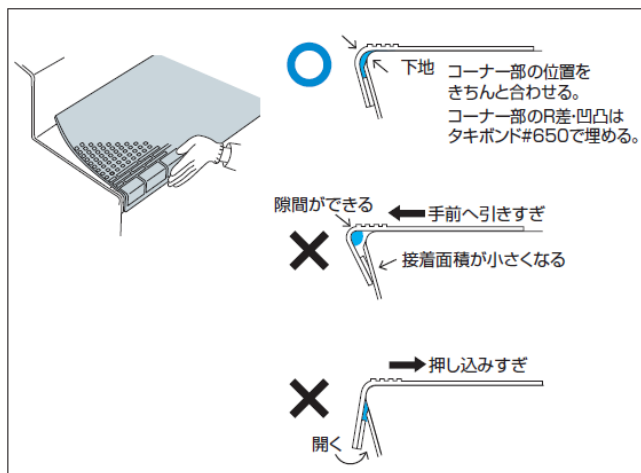
6. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- タキステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650を、コーキングガンで約6~7mm径の太さで均一に塗布してください。
- タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。
- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。



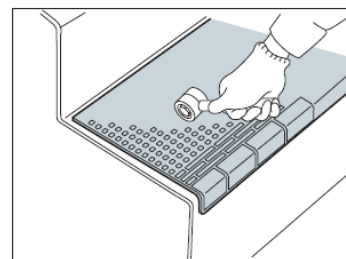
7. タキステップの張り付け

- タキステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)に当てがい、下地とタキステップの折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。その際、段鼻部が折り曲がらないように、また段鼻部を奥に押し込みすぎないように注意して張り付けてください。



8. 圧着

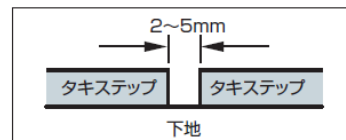
- タキステップ全面をハンドローラーで十分に圧着してください。タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)



9. 継目処理

- タキステップ同士の継目は、エンボスの谷間で2~5mm程度の隙間を空け、マスキングテープで養生後、タキシール#600(別売)にて処理を行ってください。

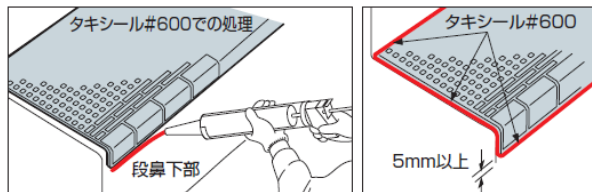
※タキシール#600が硬化するまで、最低2~3日養生してください。
養生時間は気温によって左右されますので、十分ご注意ください。



●シール処理する場合

10. 端部処理

- タキステップの全周にマスキングテープ養生し、タキシール#600の中が5mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで端部処理を行ってください。マスキングテープは仕上げ後ただちに取り除いてください。
- ※端部処理は、前垂れの浮きや段鼻の破損を抑制する効果がありますので、必ず実施してください。
- ※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面や蹴込み面にかからないように、隙間を空けて、踏み面部で処理してください。

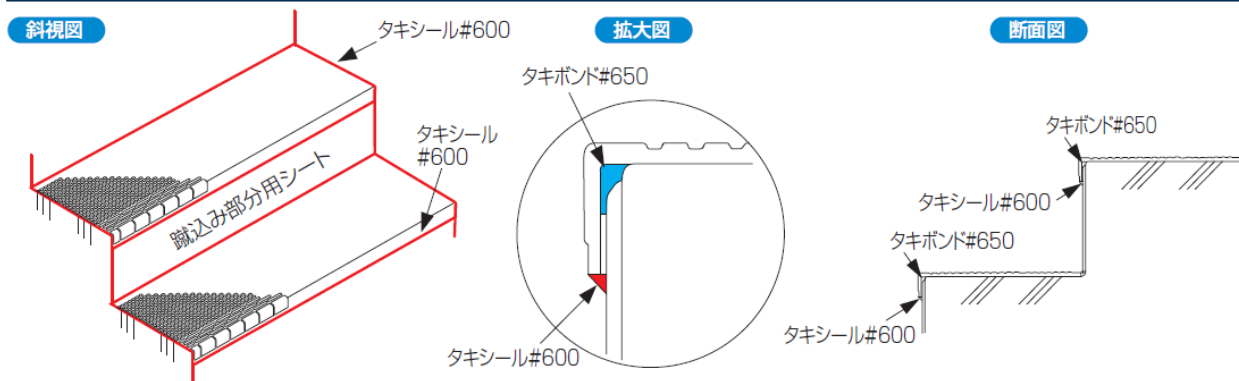


11. 養生

- タキステップ施工・清掃後、タキボンド#650・タキシール#600が硬化するまでは歩行をできるだけ控えてください。
特に段鼻部はタキボンド#650が流動したまま硬化しますと、亀裂や剥離が発生する恐れがありますので注意してください。

- 注) ●平鋼板製階段につきましては、十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
 - 踊り場用シートと溶接処理する場合は、段差が出来ないように仕上げてください。
 - 前垂れ部のタキシール中が5mm未満または5mm以上でも適正量打設できないと、前垂れ部の強度が不足し浮きが発生する恐れがありますので注意してください。
 - 端部処理は全周行うことを標準工法としております。
 - モルタル充填型鉄骨階段、踊り場には、通気緩衝工法で施工してください。通気緩衝工法には専用副資材(ベンチレイシート)が必要となります。詳しくは営業担当者までお問い合わせください。

3W 標準納まり図



3W 副資材標準使用量一覧表

		タキボンド #607	タキボンド #601	タキボンド #625	タキボンド #650 (付属品)	タキシール #600
900 タイプ	蹴込み部分用シート無し	156段/18kg	156段/18kg	63段/400g	10.0段/本	7.5段/本
	蹴込み部分用シートあり	100段/18kg	100段/18kg	63段/400g	10.0段/本	7.0段/本
1200 タイプ	蹴込み部分用シート無し	117段/18kg	117段/18kg	47段/400g	7.5段/本	6.0段/本
	蹴込み部分用シートあり	75段/18kg	75段/18kg	47段/400g	7.5段/本	5.5段/本
1800 タイプ	蹴込み部分用シート無し	78段/18kg	78段/18kg	31段/400g	5.0段/本	4.5段/本
	蹴込み部分用シートあり	50段/18kg	50段/18kg	31段/400g	5.0段/本	4.0段/本

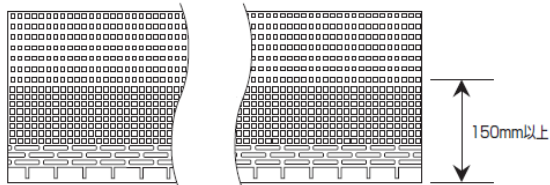
●タキボンド#650はタキステップに付属されていますが、下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。

踊り場用シート 施工手順

詳細な施工手順についてはタキストロン タフスリップタイプ施工方法に従ってください。

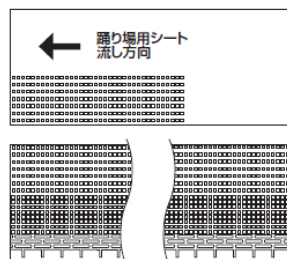
1. タキステップ最上段の施工について

- タキステップ(最上段)は、踏み面部の寸法が150mm以上になるように仕上げてください。
- 踏み面部長いと、タキステップのズレ、脱落の恐れがあります。



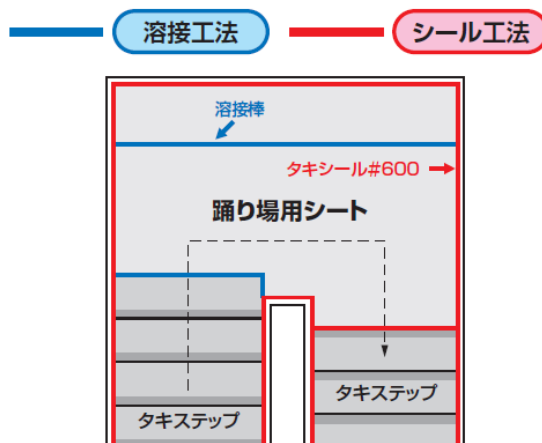
2. 踊り場用シートの施工

- タキストロン タフスリップタイプ施工手順に従って踊り場用シートを施工してください。
- ※ 踊り場用シートの流し方向に注意してください。
- ※ 出来るだけ継目部の柄合わせを行ってください。
- ※ 継目は柄模様の目地部で行うのが基本です。
- ※ 踊り場用シート及び踊り場用シートとタキステップは柄合わせできません。ご了承ください。



3. 継目処理・端部処理

- 下図のように、継目は溶接工法(溶接棒)、端部はシール工法(タキシール#600)にて処理を行ってください。
- 養生が可能な場合は、継目にタキシール#600を使用することも可能です。ただし、以下につきまして十分に注意してください。
- ※ 養生期間を2~3日設けてください。
- ※ タキシール#600の仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。

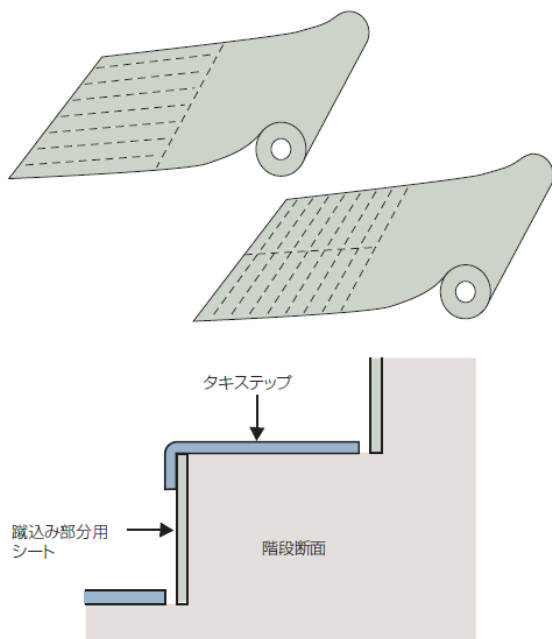


蹴込み部分用シート 施工手順

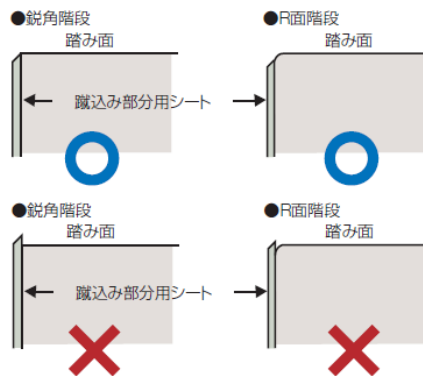
詳細な施工手順についてはタキストロン タフスリップタイプ施工方法に従ってください。

1. 蹴込み部分用シートを張付けてからタキステップを施工してください。

- 蹴込み部分用シートの流し方向は、縦・横どちらの方向でも結構ですが、全段で方向を統一してください。



2. 蹴込み上端部の裁断は専用接着剤で張り付けてから、下図のように踏み面より短く、斜めカットしてください。



3. 側面端部の仕上げはタキステップと直線ラインが得られるようにカットし、全周をタキシール#600で端部処理します。

